

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2004-533543 (P2004-533543A)

【公表日】平成 16 年 11 月 4 日 (2004.11.4)

【年通号数】公開・登録公報 2004-043

【出願番号】特願 2003-510468 (P2003-510468)

【国際特許分類】

**C 2 2 C 19/05 (2006.01)**

**B 2 2 F 3/10 (2006.01)**

**C 2 2 C 19/07 (2006.01)**

**F 1 6 C 33/10 (2006.01)**

**F 1 6 C 33/12 (2006.01)**

**F 1 6 C 33/14 (2006.01)**

【F I】

C 2 2 C 19/05 Z

B 2 2 F 3/10 G

C 2 2 C 19/07 Z

F 1 6 C 33/10 D

F 1 6 C 33/12 B

F 1 6 C 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 5 月 31 日 (2005.5.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

重量％で、Cr：5～30、Mo：0～15、Ni：0～25、W：0～15、C：0～5、Si：0～5、B：0～5、Fe：0～5、Mn：0～5、その他の元素を合計で最大 10 および残部が Co である組成を有する 1 種または複数の合金と、3～15 重量％の Sn と、1～6 重量％の固体潤滑剤とを含んでなることを特徴とする焼結材料。

【請求項 2】

前記スズの含有量が 4 から 10 重量％の範囲内であることを特徴とする請求項 1 に記載の焼結材料。

【請求項 3】

前記コバルト基合金における前記その他の元素が Cu、V、Nb、Al、および Ta の 1 つまたは複数を含むことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の焼結材料。

【請求項 4】

前記材料が約 10 体積％以下の気孔率を有する請求項 1～3 のいずれか 1 つに記載の焼結材料。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の焼結材料を製造する方法において、重量％で、Cr：5～30、Mo：0～15、Ni：0～25、W：0～15、C：0～5、Si：0～5、B：0～5、Fe：0～5、Mn：0～5、その他の元素が合計で最大 10 および残部が Co である組成を有する 1 種または複数の前記コバルト基合金を含む粉末を、前記材料の 3～15 重量

%を提供するSn粉末および前記材料の1～6重量%を提供する固体潤滑粉末と混合するステップと、前記粉体混合物を圧縮して圧粉体を得るステップと、前記圧粉体を制御環境下において焼結するステップとを含むことを特徴とする方法。